

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立三先小 学校

児童数 67

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.08	17.88	33.12	19.28	53.76	9.20	145.71	22.48	50.59
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	16.81	18.35	38.69	20.07	34.18	9.97	132.68	13.82	50.39
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男女ともに握力は、全国および大阪市の平均値を大きく超えている。またソフトボール投げも全国、大阪市の平均を超えている。男子だけを見ると、20mシャトルランや50m走で全国や大阪市の平均を超えている。上体起こしや立ち幅跳びは、全国や大阪市平均を大きく下回っている。女子では、上体起こしや長座体前屈で全国や大阪市平均とほぼ同じような結果になっている。立ち幅跳びは、全国や大阪市平均を大きく下回っている。体育の授業や運動の取り組みはある程度の実績を残しているが、本校児童は、休み時間にボール投げ運動や鬼ごっこなどをよくしている。その成果として、男子の走と投の力がついてきていると思われる。運動をすることが好きな児童の割合は男子は非常に多いが、女子も全国や大阪市と比較しても、それほど低いわけではない。1週間の総運動時間数では、男子は総じて1時間～7時間と回答している割合が高いが、女子はほとんど運動をしていない児童の割合が20%程度ある。

学
校
の

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

種目により、能力の高いものや低いものがあるが、学校として授業及び様々な取り組みにより、体を動かすことが好きな児童は増えている。休み時間も十分に確保して、毎日、体をしっかりと動かしている児童は増えている。
三先山で遊ぶ児童が多く、楽しみながら運動を行っているが、土の流出や施設の劣化が進んでいる。今後、三先山の活用で楽しみながら安全に運動ができるように環境を維持していくことが、大きな課題である。